

2024年4月1日発行

東大阪商工月報

2024

4

No.858



行動方針

『行動する
商工会議所』

未来を見据えて
～変革への挑戦・志の共有・知力を磨く～

マンスリートピック **2024年度事業計画(案)・収支予算(案)を承認
第5回常議員会並びに第2回通常議員総会を開催** 〈1頁〉

特集 **変化する経営環境における強い企業の適応戦略
～多角化経営の視点から～** 〈10頁〉



東大阪商工会議所

<http://www.hocci.or.jp>

四り と新たな柱に

(株)三共製作所

ハウを蓄積し、取引先開拓に努め、現在は消化装置・自動車・住宅・光通信関連など幅広くマーケットを拡大している。また、早くから外国人材の雇用に積極的に取り組み、2014年には日本語学校を設立し、人材確保に苦しむ企業に外国人材を供給する事業も展開している。

同社が次の新事業の柱と見据えているのが半導体関連の市場、特に注力しているのが光センサー部品である。光センサーは、スマートフォン、自動車、介護など様々な分野で実装が進んでおり、産業のオートメーション化の流れの中で今後も市場拡大が見込まれている。しかし、光センサー部品は極めて厳しい公差が求められるっており、特に同社が主に手掛ける筐体は、0.01mm単位の加工精度が求められる。さらに形状が非

常に複雑で様々な方向からの加工が必要なため、既存の加工体制では工作物の取り付け直し(チャッキング)の際に生じるズレ等から、必要な寸法精度を安定して保つことができないという問題があった。そこで同社は、60本の刃物を搭載し一回のチャッキングで様々な方向から加工できるオークマ複合加工機2台と棒状加工に対応したシチズンマシナリー製スイス型旋盤を導入。ものづくり補助金等も活用した計7300万円の投資でセンサーメーカーに部品を供給できる生産体制を構築した。今後は年間売上上の10%に相当する1億6000万円規模の事業育成を目指していくという。

「今まで積極的に市場開拓に努め様々な業界の企業と取引を持ち、事業の柱を何本も築けたことが弊社の強みです。その要は妥協なく品質・価格・納期を徹底追及してきたことにあると思います。今回、世界的に最先端の技術分野である半導体市場に参入する中で、さらに技術を磨き、事業拡大を図ることで日本のモノづくりに貢献してまいります」と松本社長は意気込む。



▲精密金属加工部品

(株)三共製作所

代表取締役 CEO 松本 輝雅 氏

所在地 東大阪市鴻池町 2-6-37

電話 06-6744-5031

従業員 142 人

養殖まで

カウの新たな挑戦

レッキス工業(株)

「ホースアメニティ事業部は当社オーナーが無類の馬好きで馬場も所目しています。そこから馬好きの社員が集まったことで、約30年前に業

更に同社では配管用機器の独自技術とネットワークをもとに、陸上養殖分野へと進出し、新たな事業の柱として事業拡大を進めている。

「約20年前に始めた養鰻事業に向けた曝気用水車の開発を機に、陸上養殖分野に進出しました。陸上養殖には①大量の水の確保 ②水質管理の難しさ ③コストなどの課題があり、長年培ったノウハウとモノづく

ます。一つ一つの事業が占める売上の割合は大きくないですが、当社の主力事業となる可能性も秘めており、経営リスクの分散にも繋がります」と期待を渗ませる今久保部長。同社新事業の躍進に目が離せない。



プレート